

平成24年度  
事業報告書

平成24年4月1日から  
平成24年7月31日まで

特例民法法人 日本宇宙少年団

## 目次

### まえがき

#### I. 目的

#### II. 概要

#### III. 事業

##### 【1】 運営委員会の運営

##### 【2】 分団活動の拡充

1. 分団の運営支援
2. 地区連絡協議会の活動推進
3. 教材の発送及び情報提供

##### 【3】 分団結成及び団員拡大

##### 【4】 情報の提供及び広報活動

1. 宇宙教育テレビ
2. 青少年に対する情報誌の発行等
3. ホームページ等による情報の提供

##### 【5】 普及啓発事業

1. 体験事業
  - (1) ふれあいサマーキャンプ
2. 宇宙飛行士参加事業
3. 国際交流事業
4. その他事業
  - (1) 講師派遣および後援名義等事業協力

## まえがき

新公益法人制度に従い昨年度から準備してきた公益財団法人への移行の認可申請を本年2月に行い、本年度中には認可される見通しであったが、認可時期が不明であったことから、本年度の事業計画書は、当初、通年での事業計画を記述していた。本年、7月中旬になって、総理大臣から当財団理事長宛に公益財団としての認可があり、8月1日の公益財団法人の登記をもって、(財)日本宇宙少年団は、公益財団法人日本宇宙少年団に移行することになった。

例年であれば、中間事業報告として説明する予定であったが、公益財団法人に移行したことから、今回の報告書は、(財)日本宇宙少年団としての活動についての最終の事業報告書となる。

(財)日本宇宙少年団としての活動に対して、これまで長年にわたり惜しみないご支援とご協力を頂いた個人ならびに団体の皆様への感謝を示すとともに、新しい法人となった活動へのご支援とご協力についてもこれまで以上をお願いすることを切に希望する次第です。

## I. 目的

宇宙及び科学への関心と理解増進を推進する事業を通じて、団員を中心とした青少年の宇宙への夢と探求心の醸成を図るとともに、国際社会に貢献できる将来の人材育成を目的として事業を実施する。

## II. 概要

平成24年度においては、団員及び分団活動の拡充、教材・プログラム開発、リーダー育成、アウトリーチ活動などを行う事業に加え、宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」という。)との宇宙教育の推進に関する確認書に基づき、JAXAと連携・協力しながら、宇宙教育の実践と裾野の拡大を行うとともに自治体や企業等と連携・協力した活動を実施してきた。なお、本期間中に実施できなかった活動については、新しい公益財団法人への活動として引き継がれることとなった。

## III. 事業

各事業の実施結果については次のとおりである。

### 【1】 運営委員会の運営

運営委員会では、日本宇宙少年団(YAC)活動や活動の運営方針についての検討を行ってきたほか、分団活動における共通プログラムや以下の部会毎に担当を決め、分団活動の支援と宇宙教育の質の向上ため、運営委員会を開催した。

- ・子ども部会・・・・・・・・団員に係る調整を検討
- ・指導者育成部会・・・・リーダーの育成を検討
- ・教材開発部会・・・・教材開発を検討
- ・大人部会・・・・・・・・活動に係る財政的支援、アウトリーチ策を

## 検討

上記のほか、公益財団法人としての運営の体制及び方法についての議論がなされ、その結果、「運営委員会」から「活動委員会」へと新しい組織に体制が移行されることとなった。

## 【2】分団活動の拡充

分団等の活動をより一層効果的に支援するために、以下の事業を実施した。

### 1. 分団の運営支援

分団の活動状況及び人材（団員・指導員）に関する情報、データの収集・管理を行うとともに、分団運営に有効な情報、資料等の提供を行った。また、YACの地方本部・支部・分団が行う活動に参加したYAC団員及び本部に登録されているリーダー等の指導員を対象に活動中の事故等に備えて保険を付保した。

保険付保実績（分団活動参加人数）： 延べ人数 7,149人

4月：1,296人、5月：2,507人、6月：1,624人、7月：1,722人

### 2. 地区連絡協議会の活動推進

分団長会議の場を利用して、分団相互の情報交等交流を図り、全国9地区（北海道・東北・関東・北陸信越・東海・近畿・中国・四国・九州）の地区連絡協議会の活動を推進した。

### 3. 教材の発送及び情報提供

教材開発部会で検討され、製作した教材を団員へ発送する。また、各種教材の指導方法及び入手方法について、ホームページ等を通して情報の提供を行った。

4月：教材「金環日食」を送付

## 【3】分団結成及び団員拡大

新規分団の結成地域をJAXA宇宙教育の推進に関する確認書に基づき、宇宙教育拠点と位置付けることになった。また、分団結成及び団員拡大を図るうえで関係機関への協力要請を行いつつ実施した。

### 分団及び団員の拡大

- (1) 地域の自治体関係者や教育関係者等の関係機関に対し、新規分団の結成及び団員拡大に関する協力と支援を依頼する。
- (2) 新規に分団等の結成を検討又は計画している地区、団体等に対して積極的に助言及び指導を行い、必要に応じて、活動している分団に協力を要請する。
- (3) 新規分団の結成にあたっては、運営委員や職員を派遣し支援を行う。
- (4) 分団に所属しない団員に対して、普及啓発事業などの活動を通じて、団員としての恩恵が受けられるようにして積極的に働きかける。

(5)上記に加え、普及啓発事業の実施時において団員の拡大を図るべく積極的に働きかける。

静岡袋井分団： 5月に結団式

大阪分団： 年末から年度末の間での設立準備支援

前橋分団： 来年5月までに結団予定として運営方法に関して助言及び支援

花巻分団： 設立前のプレイベントに対する支援

岡山桃太郎分団： 11月の結団に対する準備を支援

三島分団： 設立希望の問い合わせに対する助言等

名古屋分団： 一宮分団と相談し分団設立の調整

#### 【4】 情報の提供及び広報活動

団員等へ宇宙教育イベントや宇宙及び宇宙に関わる情報の提供を行うとともに、広く一般へYAC活動の情報公開・提供をすることによりYAC活動への理解を獲得する活動を行った。

##### 1. 宇宙教育テレビ

日本全国の子ども達や宇宙教育関係者、更には一般の方々が、「宇宙」を身近に感じ、「宇宙」を通して好奇心や冒険心、匠の心を育んでもらえることを目指して、JAXA宇宙教育センターと連携してインターネット配信番組を放送した。

定期放送： 毎月、第2・第4水曜日19：00～19：45

特別放送： ロケットの打ち上げ、宇宙飛行士関連に合わせて放送

放送日	タイトル
2012年4月21日(土)	【第85回】筑波宇宙センター特別公開2012春 ライブ放送
2012年4月25日(水)	【第86回】ハイブリッドロケットを打ち上げたい！特集
2012年5月9日(水)	【第87回】フロンティアSP第1弾 JAMSTEC「しんかい6500」特集
2012年5月18日(金)	【第88回】H-IIA 21号機「しずく」打ち上げライブ放送
2012年5月21日(月)	【第89回】金環日食ライブ放送
2012年6月13日(水)	【第90回】フロンティアSP第2弾 JAMSTEC「ちきゅう」特集
2012年6月6日(水)	【特別放送】金星の太陽面通過 ライブ放送
2012年6月27日(水)	【第91回】星出宇宙飛行士特集ライブ放送
2012年7月15日(日)	【第92回】星出飛行士搭乗ソユーズ打ち上げライブ放送
2012年7月21日(土)	【第93回】HTV搭載H-IIBロケット打ち上げライブ放送
2012年7月25日(水)	【第94回】宇宙教育テレビ in たまがわ宇宙展
2012年7月17日(火)	【JAXA放送】星出宇宙飛行士 ISSへ

##### 2. 青少年に対する情報誌の発行等

宇宙情報誌の送付

宇宙及び科学技術に関わる最新の情報や科学実験の紹介を子ども向けに紹介し、宇宙教育活動レポート、イベント情報等を掲載する情報誌「宇宙のとびら」を団員へ送付した。

6月：宇宙のとびら2012夏（020）号の発送

### 3. ホームページ等による情報の提供

ホームページを通してYAC本部や分団の情報更新に努め、分団、団員及び一般の利用者に公開し、様々な宇宙教育活動に関わる情報提供を行った。

(1) ホームページによる情報提供件数

本部ブログ：5月1件

本部からのお知らせ：4月1件、5月1件、6月6件、7月2件

メディアニュース：4月1件、5月6件、6月2件、7月3件

(2) 電子メールによる情報提供件数：4月1件、5月1件、6月6件、7月1件

## 【5】普及啓発事業

宇宙教育の理念に基づき、以下の青少年に対する普及啓発事業を実施した。

### 1. 体験事業

(1) ふれあいサマーキャンプ

子供は好奇心に満ち活発で、自然に触れて知る様々な不思議に感動する。また、子供たちは宇宙や地球の不思議に触れることをきっかけとして自然や科学に興味を持ち、関心を高めるようになる。ふれあいサマーキャンプは、豊かな自然環境の中で、宇宙を題材とした学習を親子で楽しく学ぶことによって科学に興味を持つようになり、更に、貴重な体験を親子で共有することによって親子の絆や家族相互の交流を深めることを目的として実施した。

共催：関西宇宙イニシアティブ（KaSpI）

後援：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

協力：京都大学・大阪府立大学・花山星空ネットワーク・関西学生星のネットワーク

実施場所：枚方野外活動センター

実施期間：7月28日（土）～29日（日）

参加総数：92名、参加者数：58名（大人：27名、子供：31名）、スタッフ等：27名（ボランティア15名）

プログラム

7月28日（土）

午前 講演Ⅰ：一緒に火星に行こう！

午後 講演Ⅱ&実習Ⅰ：「宇宙の生活」について

「ロボットアーム工作」と簡単なゲーム

夜 実習Ⅱ： 天体望遠鏡による星空観望

7月29日（日）

午前 実習Ⅲ： 野外活動センターGPS宝探し

午後 実習Ⅳ&講演Ⅲ： GPSによる自然散策の各グループの足跡  
トレース「宇宙メダカについて」

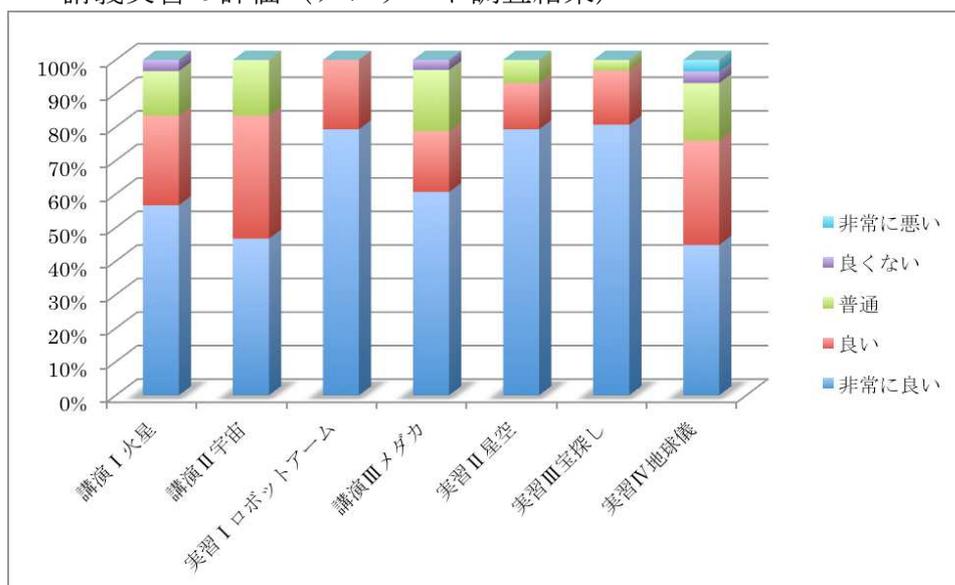
交流会及び終了式



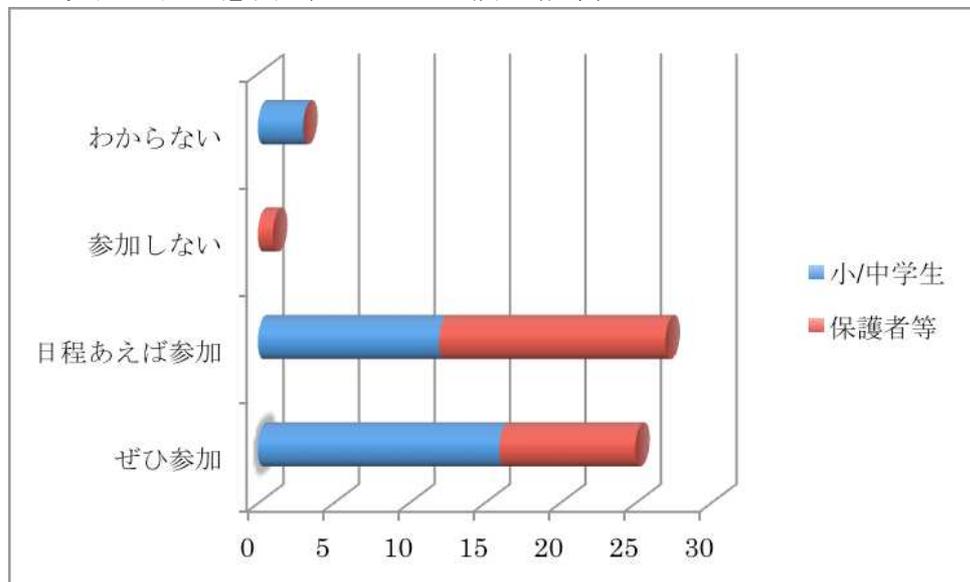
(講義風景)

(GPS宝探し)

講義実習の評価（アンケート調査結果）



次回の参加意向（アンケート調査結果）



## 2. 宇宙飛行士参加事業

### ハローアストロノーツ

「ハローアストロノーツ」は、宇宙ホンモノ体験の一環として、離れた場所にいる宇宙飛行士と参加者がインターネットで交信し、交流（具体的には宇宙飛行士からの最新トピックや近況報告、参加者からの質疑応答）を行うもので、7月に開催予定（8月開催となった）であった福井県小浜市での準備を行った。

## 3. 国際交流事業

### (1) ミッションX

ミッションXとは、宇宙飛行士式トレーニングを通して子ども達が楽しみながら宇宙飛行士の健康的な食習慣や運動習慣への理解を深め、子どもの科学的思考力、科学する心を育むとともに、世界各国から集う青少年との交流を通して豊かな国際感覚を養い、国際的視野を持つ人材育成を目的とした国際的な活動である。今年、オリンピック開催に先駆け、世界各国より青少年がロンドンに集い、ミッションXプログラムを実施した。

主催： 英国宇宙機関（UK Space Agency）、NASA、欧州宇宙機関（ESA）

実施場所： 英国 ロンドン

実施期間： 4月25日（水）～28日（土）

参加者： 小学5年生～中2年生 男女5名（世界から約15カ国の子供たちが参加）

プログラム

4月25日（水）

開催場所、B ロールの撮影、およびテーマの専門家や有名人などとのインタビューの支援などの習熟。

26日（木）

午前 - ケンブリッジ大学訪問ツアー

昼食と交流会 - オリエンテーション

27日（金）教育日

午前 - 学校午後でのオリンピックのサイトのツアーと Eastlea School での活動/昼食

午後 - Barts 医科大学と王立ロンドン病院、王立グリニッジ天文台訪問

夜 宇宙飛行士(ホテルでの、あるいは地元の学校によって主催された)から基調講演/プレゼンテーションを備えた夕食会

28日（土） - ロンドン（文化及び学術）

午前 - 王立グリニッジ天文台への訪問、ロンドン大観覧車へボート遊覧

午後 - 王立航空協会、王立天文協会、王立自動車クラブの講義、宇宙飛行士および他の宇宙エキスパートからの歓迎スピーチ

夕方 全体会議の閉会/評価と今後へのフィードバック



参加者記念撮影



閉会式の様子

## （2）白熱宇宙道場

本事業は宇宙への夢を抱く日本の高校生たちが日本という枠を飛び越え、世界への挑戦を肌で感じ、未来への可能性を学ぶ講座を目指します。

本事業のプログラムは2部で構成されます。第1部ではJAXAの職員で米国の大学に留学した経験者から現地で学んだこと、現在の仕事との関係などを語って頂きます。対象となる学科、分野は宇宙工学や天文学に限らず、法律、政治、経営など文理問わずに幅広い分野とします。

第2部では、アメリカの大学での授業の雰囲気や内容を体験するために、アメリカ大使館からご紹介頂くアメリカ人講師の講義を受講します。

共催： アメリカ大使館（広報文化交流部）

協力： 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、東京大学、京都大学、大阪大学

開催場所： 東京大学、京都大学、大阪大学

開催時期： 6月30日（土）（東京大学）

7月21日（土）（京都大学、大阪大学）

参加者： 高校生 東京：30名 京都：6名、大阪：30名

プログラム

テーマ講演： 宇宙産業の実務に就業する米国大学留学経験のあるJAXA職員による講演。（東京：山方建士、京都：宮川弥生、大阪：森有司）

ワークショップ： 米国人大学教授により、アメリカでの大学の授業を実体験。（九州大学 ジョーダン ポラック教授）

レクチャー： 海外留学するためのアドバイス、情報提供。（EducationUSA アドバイザー）



（講義風景）

#### 4. その他事業

##### （1）講師派遣および後援名義等事業協力

宇宙・科学の普及啓発を目的とした講演会等外部より依頼を受けた場合、そのテーマに沿った講師の派遣のコーディネートを行う。

また、宇宙および科学の普及啓発に係る事業に対し、当財団後援名義使用許可を以下のとおり行った。

4月1日～平成25年2月24日

(公財)つくば科学万博記念財団主催 「第14回ジュニア発明展」協力

5月2日～13日

吹上浜砂の祭典実行委員会主催 「2012吹上浜砂の祭典 SAND & FLOWER フェスタin南さつま」後援

7月8日

静岡県青年毎日会主催 「銀河教室in浜松」 後援及び講師(2人)派遣

7月14日～9月17日

佐賀県立宇宙科学館、佐賀県主催 「佐賀県立宇宙科学館～2012年夏休み特別企画展『飛び出せ！宇宙へ！』～」 後援